

全鉄連流通動態調査結果表平成24年8月分

(24.9.24)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前 月 在 庫 量		仕 入 れ 量		販 売 量		月 末 在 庫 量		
		7月実績	前月比%	8月実績	前月比%	8月実績	前月比%	8月実績	前月比%	
異 形 棒 鋼	東 京	10,914	95.5	61,665	99.2	60,985	97.3	11,594	106.2	
	大 阪	5,828	93.2	22,390	91.3	22,099	88.6	6,119	105.0	
	愛 知	7,486	109.7	3,294	68.7	3,050	73.8	7,730	103.3	
	計	24,228	98.9	87,349	95.5	86,134	93.9	25,443	105.0	
形 鋼	山 形 鋼	東 京	22,379	97.1	9,126	96.9	9,174	90.9	22,331	99.8
		大 阪	16,119	94.5	9,536	109.0	10,142	104.6	15,513	96.2
		愛 知	11,282	95.0	6,715	108.0	5,886	86.4	12,111	107.3
		計	49,780	95.7	25,377	104.1	25,202	94.7	49,955	100.4
	溝 形 鋼	東 京	16,964	94.1	4,814	75.9	6,004	81.0	15,774	93.0
		大 阪	10,871	90.7	5,579	107.6	6,178	98.0	10,272	94.5
		愛 知	6,915	111.2	5,116	94.0	4,367	92.1	7,664	110.8
		計	34,750	95.9	15,509	91.4	16,549	89.7	33,710	97.0
	H 形 鋼	東 京	28,880	93.9	12,006	87.1	14,326	91.4	26,560	92.0
		大 阪	32,992	88.3	27,050	111.1	31,499	109.6	28,543	86.5
		愛 知	22,096	94.4	10,936	72.9	11,378	69.8	21,654	98.0
		計	83,968	91.7	49,992	94.1	57,203	94.2	76,757	91.4
合 計		168,498	93.7	90,878	96.2	98,954	93.5	160,422	95.2	
コ ラ ム	東 京	7,947	99.0	2,187	77.8	2,592	89.5	7,542	94.9	
	大 阪	8,534	84.8	2,102	121.1	3,190	97.7	7,446	87.3	
	愛 知	2,602	104.2	2,149	75.2	2,150	78.0	2,601	100.0	
	計	19,083	92.7	6,438	86.9	7,932	89.0	17,589	92.2	
軽 量 C 形 鋼	東 京	3,445	99.4	2,606	99.3	2,609	98.7	3,442	99.9	
	大 阪	2,825	91.3	1,802	109.4	1,707	89.0	2,920	103.4	
	愛 知	1,948	98.7	1,305	105.1	1,214	95.7	2,039	104.7	
	計	8,218	96.3	5,713	103.6	5,530	94.9	8,401	102.2	
総 計		220,027	94.3	190,378	95.7	198,550	93.5	211,855	96.3	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 東京 35、大阪 22、愛知 15、合計 72社

※この資料は経済産業省、鉄流態関係者、報道機関のみ配布しています。

〔調査内容変更について〕

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品目ながら市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種に、コラムを追加②調査対象品種よりブレン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数値をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。